

受験対策

円の性質（3年生 6章）

【1】教材説明

- A 基本問題練習 …入試問題を戦うための重要基礎知識です。頑張ろう！
- B 公立過去問 …全員得点したい内容です！（20年以降は、配付済みです）
- C 公立類似問題 …解くための「目指すポイント」を載せておきました。Bよりやや難。
- D 重要問題（難関私立対策）…特殊な出題形式です。私立では押さえておきたい問題です。

【2】優先順位表

	プリント	I 公立準備	II 公立平均	III 公立8割	IV 難関私立
A	基本問題	◎	◎		
B	公立過去問	◎	◎	◎	▲
C	公立類似	▲	△	△	◎
D	重要問題	▲	▲	△	◎

◎ = 最優先、△ = 挑戦（◎の次の段階）、▲ = 優先順位低い
無印 = ◎や△が解けない場合は、ここへ戻る。

【3】先生たちより

～全員へ～ 公立4(1)で問われる問題です。全員正解したい問題です！絶対できる！！

I 公立準備の人たちへ

『 どの角とどの角が円周角の定理でかかわるのか 』を正確におさえておこう。よく使う平面図形の知識である「外角の性質」に慣れ、二等辺三角形や平行線の性質が、どのように角を求めることに生かされているのかを理解しよう。

II 公立平均点を目指す人たちへ

『 問題文の条件から、図に書き込み忘れがないように 』しよう。そこが、手が止まる原因の1つです。また、特殊な三角形（二等辺三角形や直角三角形）の発見の流れも確認しておきましょう。

III 公立8割以上を目指す人たちへ

多くの受験生が得点してくる問題です。『 補助線を引くのか引かないのかの判断が根拠をもって素早くできるように 』しましょう。補助線の引き方のコツやねらいを自分なりに持っておくと良いです。（近年は引かずに解ける問題が多いので、類似問題は、補助線なしで解ける問題を用意しました。）

IV 難関私立を目指す人たちへ

公立では、接線を用いた問題の出題率が低いですが、私立は準備が必要です。『 内接・外接三角形や内心、外心の問題、円周の比の問題など、考えの流れを理解しておくが良い 』と思います。

また、公立では円と三平方の融合問題の出題率が低い（H25以降なし）ですが、私立では問われる可能性が高いので、公立過去問の7章 三平方の定理の円の問題で対策しておきましょう。